会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和7年1月28日(火) 午後2時00分開会 午後3時20分閉会
開催場所	環境プラザ「つばさ館」3階 研修室
議長氏名	議長(副会長):最首洲子、仮議長(前会長):高橋健治
出席者(委員)氏名(人数)	委員:高橋健治、最首洲子、吉田忠将、谷口義治、塚越恵美子、 神田賢志、松本きみ、糸真美子、村山博紀、今野英子、 田畑たき子、片野広隆、大泉操、成尾耕治、武藤良博、 村野昭人 (16名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委員:大塚淳、岡本将之、樽谷俊彦、松波淳也 (4名)
事務局職員職・氏名	環境部長:渡邊靖雄 環境部副部長:山崎茂(環境政策課長) 課長:山原弥(環境対策課)、林一成(産業廃棄物指導課)、 林淳二(資源循環推進課)、杉本弘(収集管理課)、 尾崎裕久(環境施設課) 副課長:中山伸矢(資源循環推進課) 副主幹:田中絵理(資源循環推進課) 主査:千村志帆(資源循環推進課) 主任:吉田大(資源循環推進課) 主事補:川村迪生(資源循環推進課)
傍聴者	1名
会議次第	1 開 会 2 委員自己紹介・事務局紹介 3 会長・副会長の互選について 4 報 告 「ごみ処理基本計画」令和5年度実績に対する点検・評価に関する 報告書について 5 その他 6 閉 会
配布資料	【事前配布資料】 ・会議次第 ・審議会委員名簿 ・川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編に係る 令和5年度実績に対する点検・評価に関する報告書 ・令和5年度清掃事業概要(統計編)一部抜粋版 【当日配布資料】 ・川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(令和4年 3月)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会	定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第1回川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。 本日は、20名の委員さんの内、16名の委員さんにご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。なお、ご欠席の委員は大塚委員、岡本委員、樽谷委員、松波委員でございます。 それでは本日の会議資料を確認させていただきます。 【資料確認】
司 会	本日、傍聴希望者が1名いらっしゃいます。会議は原則公開となっております。委員の皆様、傍聴を許可してもよろしいでしょうか。 【異議なし】
委 員	【異議なし】
司 会	委員が改選されてから初めての審議会でもありますので、委員の皆様には大変恐縮ですが、席順に自己紹介をお願いしたいと思います。 【各委員自己紹介】
委 員	【各委員自己紹介】
司 会	ありがとうございました。続きまして、環境部長より環境部職員の紹介をさせていただきます。 【環境部職員紹介】
環境部長	【環境部職員紹介】
司 会	次に議題に入りたいと思いますが、始めに本審議会の会長、副会長を決める必要がございます。 川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第1項の規定により、委員の皆様の互選によって、会長、副会長を決めていただきたいと思います。 その進行のために仮議長の選出をお願いしたいと存じます。 前会長であります川越市自治会連合会の高橋委員さんに、仮議長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
委 員	【異議なし】

委員	【承諾】
司会	ありがとうございます。 それでは高橋委員さん、前の席に仮議長席を用意しておりますので、移動の方よろしくをお願いいたします。
仮議長	仮の議長を務めさせていただき皆様方のご協力をよろしくようお願い申し上げます。 議題の会長、副会長の改選の選出方法につきまして、何かご意見ございますでしょうか。ないようでしたら事務局から一般にどのような方法で選出しているかの説明をお願いいたします。
事務局 資源循環推進課長	一般的には、立候補による方法と指名推薦の方法がございます。前回は立候補者がなく、指名推薦による方法で選出されております。
仮議長	ありがとうございます。 ただいま事務局から2つの方法が提示されました。 まずは立候補者を募り、立候補者がいない場合は指名推薦による方法により選出したいと考えておりますが、いかがでしょうか。
委員	【異議なし】
仮議長	ありがとうございます。 それでは、会長に立候補される方、いらっしゃいますか。 立候補者がいらっしゃらないようでございますので、前回同様、指名推薦による方法で選出してよろしいでしょうか。
委員	【異議なし】
仮議長	ありがとうございます。 それでは会長の推薦についていかがいたしましょうか。
委員	私の方から推薦をさせていただきたいと思います。会長には、かわごえ環境推進員協議会で活躍されている大塚淳委員さんを推薦したいと思います。

仮 議 長	ただいま会長に大塚委員をと推薦いただきましたが皆様方、いかがでしょうか。
委 員	【異議なし】
仮 議 長	ただいま皆様方からご同意を得ましたので、大塚委員さんに会長を受けていただきたいと思います。 この場で新会長となられる委員の方から承諾をいただくところですが、今回欠席ということで事前にお話いただいており、事前に事務局から、大塚委員に会長の了承を得ています。本来はここから新会長が議長として議事進行をするべきですが、今回は新会長不在ということでございますので、引き続き副会長の互選を議題にしたいと思います。 まずは立候補者を募ります。副会長に立候補される方いらっしゃいますでしょうか。 いらっしゃらないようでございますので、副会長について推薦をお願いしたいと思います。
委 員	こちらの方も私の方から推薦させていただきたいと思います。 副会長には、川越市女性団体連絡協議会の最首洲子委員さんを推薦したいと思います。
仮 議 長	皆様方はいかがでございましょうか。
委 員	【異議なし】
議 長	ただいま皆様方から同意をいただきました。最首委員さん、受けていただけますでしょうか。
	【承諾】 最首委員
議 長	それでは新会長、副会長が選出されましたので、これをもちまして仮議長の職を終了させていただきます。ありがとうございました。
司 会	高橋委員さん、仮議長の進行ありがとうございました。 それでは早速ではございますが、最首委員さん、副会長席へご移動お願いいたします。

	副会長になりました最首委員様から一言ご挨拶を賜りたいと存じます。 よろしくお願いいたします。
	【挨拶】最首副会長
司 会	それでは川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第3項の規定に基づき、今回は新会長が欠席のため、副会長の最首委員に議長になっていただきまして、進行をお願いしたいと思います。 よろしくお願いいたします。
議 長	報告「ごみ処理基本計画」令和5年度実績に対する点検・評価に関する報告書について、事務局より説明をお願いいたします。
資源循環推進課副主幹	報告事項（1） 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」令和5年度実績に対する点検・評価に関してご報告させていただきます。
議 長	【説明】資源循環推進課副主幹 ただ今、事務局より説明がございました。 質問、意見などがございましたら、よろしくお願いいたします。
委 員	資料1「点検・評価に関する報告書」で、4頁（4）環境に配慮した廃棄物処理システムの構築、①収集運搬に関する施策、収集運搬に関する施策の評価において、何を達成できなかったのか。また、この評価は、紙資源の回収のモデル地区を昨年度9月で辞めたということが影響しているのか伺います。 リサイクル率と、年間のごみ総排出量が年々減少しているということですが、販売店やストアでの資源物回収量は把握できないため、総排出量にこれらの資源物に関しての数字は含まれていないので、これでいいのかという疑問があります。総排出量のベースがおかしいのではないかと思います。 以前、集団回収は民間同士の契約で行っているのですが、総排出量から抜いて欲しいとお話をしたと思うのですが、いつの間にか入ってしまっているのか、これが総排出量でいいのか、どのように考えているのかお答えいただけますでしょうか。

資源循環推進課副課長	収集運搬に関する施策につきましては、家庭系ごみの有料化を社会情勢、経済情勢をみながら検討しているところですので、その部分に関係しているということが一つと、資源物排出機会のモデル事業が、昨年度で終了したということが、関係していることで収集部門に関する結果が目標未達成となっています。 2つ目のご質問は、ごみ排出量の民間同士の資源物量の数字を含めてはどうかというご質問でよろしいでしょうか。
委 員	それは把握できないので、民間同士の契約で行っている部分を外すのは、川越市が取り扱っている廃棄物の総量である数値として成り立ちますが、把握できないものを含めるのが無理であるなら、集団回収やストアで排出しているなど不確定な部分を総排出量にするのはどうかということです。
資源循環推進課副課長	委員さんの発言通り、スーパーなどに排出される数字を私どもの方で把握しておりませんので、実際は不明ですが、集団回収は市でも推進していく事業と考えておりますので、集団回収を含めた年間排出量を統計数値として考えていきたいと考えております。
委 員	集団回収については、協議会を作って、協議会の中で話し合いを重ねたうえで今後の事業のあり方を決定するのであれば、関係者は納得すると思いますので、集団回収の協議会を作ってもらいたいです。
資源循環推進課長	集団回収については、今年度、実施団体、協力業者の方々には混乱をさせてしまい、ご迷惑をおかけしております。少しお時間をいただいて、皆様と今後についてお話をさせていただき、協議を重ねていきたいと思っております。
議 長	集団回収については、整理していただいた方がよいかと思います。それ以外に意見のある方いらっしゃいますか。
委 員	6頁の事業点検シート（1）環境教育・啓発活動・地域活動の推進、②啓発活動に関する施策、（イ）出前講座について、小学生や自治会などを対象にということなので、令和5年度の3件の実績値の内訳を教えてください。 小学校4年生の先生を対象に出前講座スクールや施設見学というようなことをされていると思いますが、小学校であれば教育委員会など

	といったところで実際に担当していらっしゃる先生方が例えば、来年度のカリキュラムを作るという動きがあると思うのですが、そういうところにも働きかけるということはあるのでしょうか。
資源循環推進課長	こちらから積極的に働きかけるということはありませんが、出前講座について小学校の担当の先生から打診がありまして、日程調整をし、話を進めております。
環境政策課長	環境教育につきましては、環境政策課が関わりますので、ご答弁させていただきます。 6頁の表の1番上の(ア)エコチャレンジスクール認定事業の記述があります。教育委員会と一緒に環境教育の活動をやらせていただいています。具体的には、小学校のグループ、中学校のグループを一緒にして、まず全部で小学校が32校、中学校が22校ございますけれども、こちらを大きくまとめて3つのグループに分けます。それから、私共で環境マネジメントシステムを運用しておりますので、まず、目標であるプランを作って、ドゥ、チェックをして、修正からアクションをするという形で、3つのグループでローテーションしていくということをやらせていただいております。今、教育長が一生懸命環境教育をやっており、各学校でいろいろな目標を決めて、例えばリサイクルを促進するとか、紙を大切にするとか、自然を大切にするといったテーマや目標を決めて、実際に見直しをしていただくということをやっております。
委 員	実は私も経験がございまして、先生方で興味を持たれるところが各科目、教科によって異なり、廃棄物の関係で社会科の先生がやっちらっしゃる中で、ごみに対してすごく興味を持っていらっしゃる先生と、決して興味がないわけではなく、他のことに取り組みたいという先生方もいらっしゃる場所があります。先生方は次年度のカリキュラムを今作っていくというようなどころがあるので、組織としての動きもそうですし、少しでもどう良くしていけるのかという先生方、そういったところに働きかけをしていくというのも一つの手法かなと思いますのでお話をさせていただきました。 あともう1点は、6頁、(2)発生・排出抑制の推進、①発生・排出抑制に関する施策、(エ)家庭系ごみ有料化の推進で、自治体向けの調査実施ということで、検討されているところだと思いますが、廃棄物の処理施設の整備、国が出している交付金といった視点などありますので、しっかり議論をしていただければなというふうに考えております。

資源循環推進課副課長	す。 あと、7頁、(3)再資源化の推進、③リサイクルの推進に関する施策、(イ)プラスチック資源循環促進法への対応は、今自治体で進んでいるところがありますが、プラスチックの一括回収とか、そういった視点ということころでよろしいでしょうか。 令和4年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されたので、それに基づくプラスチック使用製品廃棄物の分別回収及び再資源化に向けた検討ということでございます。
委 員	副会長からも廃棄物はいろんな分野にかなり深く関連しているというところがありますので、こういったプラスチック資源循環の対応だとかそういったこともありますけれども、いろんな動きが足早に動いている状況がありますので、他自治体で行っているようなところをいろいろ視察して進めていただければと思っております。 先ほど委員からお話が合った資源集団回収をなぜここに含めているかということについては、国から集団回収量を入れるようにというところがありますので、ごみの年間排出量には入れざるを得ない状況です。集団回収を除いた数字はどうなのかという見せ方もできるかなと思いますので、今後検討の中で進めていただければいいのかなと思います。
資源循環推進課長	先ほど説明ができませんでした出前講座についてお答えいたします。寺尾小学校、かわごえ環境推進員福原支部、武蔵町自治会の3つのところで出前講座をさせていただきました。内容につきましては、いずれもごみの減量・リサイクルでございます。
議 長	よろしいでしょうか。
委 員	はい。ありがとうございます。
議 長	他にいらっしゃいますか。
委 員	ごみの減量化ということで、川越市自治会連合会と取り組んでまして、昨年度川崎市の焼却のセンターに行ったときに聞いたお話では、まずはごみの分別を徹底的にやり、ペットボトルは資源回収、再利用、

紙類についてもしっかりと形で分別することによってかなり減らすことができるということを聞きました。川越市の状況を見ると、まだまだ分別が甘いなというふうに思っています。例えば、びん・かん、ペットボトルで、ペットボトルは川越市が言っているようにラベルをはがしてふたを取って欲しいと言っていますが、守られていないがゆえに資源化が難しくなっています。それとアルミ缶はアルミ缶で集団回収で回収していただいていますので、そういうことを徹底的にやることによってかなり分別が進み、ごみの量が減ります。あとは、生ごみは乾燥するところまではいかなくても、水分を絞ることによってかなり違いますと言っていました。川越市の場合、そういうアピール、説明がまだまだ足りないと思います。そういうことをやることによって市民の努力を仰いで、資源を再利用できるものは再利用することも小中学校をはじめ、いろいろなところでアピールすることによって、もう少し協力を得られるんじゃないかと思います。生ごみを絞って出すとか、そういうことをやっていかないと能力的にはいっぱいになりつつあるので、川越がごみの焼却ができなくなると大変なことになりますので、もっとごみの減量ということを川越市全体で取り組んだり、いろいろな場面で取り上げることで資源の無駄がなくなる、それから焼却場が長持ちするということにつながりますので、そういうアピールをしていただきたいと思います。

資源循環推進課長

分別の関係や方法について、ホームページ等でアピールしておりますが、さらに徹底していきたいと考えております。

委員

委員さんからも、生ごみを絞るというお話も出て、広報などいろいろな形でアピールしているとは思いますが、なかなか一人一人に刺さっていかないというのが現状だと思います。例えば自治会の集まりなどでもアピールして、市では定期的に広報などで周知していることは承知していますが、重ねて付け加えさせていただきます。

6頁(2)発生・排出抑制の推進、(ウ)食品ロスの削減に関して1点お話をしたいと思います。令和5年度の評価がBということが付け加えられておりまして、食品ロスを削減するため、フードドライブを実施し、回収した食品を社会福祉協議会等に寄贈したというところと、令和6年度の取り組み予定といたしましては、この食品の寄贈先の分配について検討する必要があるというところについて、この社会福祉協議会では、こういったところに食品を配布しているのかをお聞かせください。

資源循環推進課副課長	資源循環推進課で毎年10月と11月にフードドライブを行っており、家庭にある余剰食品を集め、集まったものを社会福祉協議会に寄贈しているわけですが、実際に社会福祉協議会がどこに配っているかという具体的なものは把握しておりませんが、代表的なところでは、子ども食堂への配布や、生活に困った世帯が直接取りに来るというお話は聞いております。
委員	ありがとうございます。目標値に対しまして実績値が半分以下というところですが、これは前年度と比較してその辺の原因はわかりますか。
資源循環推進課副課長	原因はわかりませんが、量が多かったときはお米の寄贈がたくさんありました。令和5年度につきましては、白米や玄米等の寄贈が少なかったという印象を受けています。ただ、令和6年度実施した際には、お米を多数いただきましたので、具体的な数字は今手元にはございませんが、より309に近い数字が出るものと考えております。
委員	食品に関しては、ごみにならないように、必要などころにもいき渡るように、活用方法について社会福祉協議会さんにもお知らせいただき、どういうところいき渡っているのか、まずそこでごみが出ないことも申し添えていただきながら、食品ロス削減になるようお願いしたいと思います。
資源循環推進課副課長	わかりました。ありがとうございます。
委員	資料2についての質問です。5頁の例えば収集部門ですが、カッコ書きの委託料はほぼ横ばいの数字になっております。一方で、建設業の方からは、処理料金が、この2、3年で10～20%も上がっているという話をよく聞きます。そのような場合、委託料が横ばいだと、業者の方が苦しいのではないかと心配しておりますので、確認させていただきます。人件費、燃料費等の値上がりというのは委託料単価に反映されているのでしょうか。
収集管理課長	人件費、燃料費等の値上がりを反映しておりますが、収集量自体が減っておりますので、そこを加味すると委託料は横ばい傾向になります。
委員	先ほども、この現状で分別がまだできていないというお話がありま

資源循環推進課課長	したが、家庭系ごみの有料化の推進のところで、令和 5 年度は実態調査をしたと書いてありますが、実際にどこかに視察に行ったということではなく、情報収集をしたということでしょうか。
委員	令和 6 年 8 月に小平市に視察に行きました。
委員	今は物価が上がっていて、分別やリサイクルについて市民に向けて、市民がやれることをもっとアピールしてそれから家庭系ごみの有料化ということでない、まだまだ納得されないかなという部分もありますし、まずはごみ減量の促進を進めるべきだと思います。生ごみを絞るとか、そこまでやっている人は本当に少ないし、紙のパッケージをきちんと分別するよりもごみに捨ててしまっている人もいますので、まずはこういうことをやって欲しいというところをもっとアピールしていただきたいなと思います。
資源循環推進課課長	ありがとうございます。皆様にやっていただけるよう周知していきたいと思います。
委員	川口市で焼却施設で火災があったというのは聞いていますが、川越市の現状はどうでしょうか。
環境施設課長	川口市でごみピットの発火が発生しており、川越市につきましてもリチウムイオン電池が原因とされる小規模な発火がリサイクル施設で結構な数が出ています。その原因が自然発火というより、衝撃が与えられて発火したという状況が見られています。施設の方については、放水銃で消火して対応しております。実際に過去に資源化センターで消防が消火活動をするような事態も起きています。リチウムイオン電池の分別を周知していかなければならないと考えています。
委員	リサイクル施設での発火は、東清掃センターと比べて、資源化センターではあまりないのではないのでしょうか。
環境施設課長	令和 2 年から令和 6 年 8 月までの過去 5 年で、東清掃センターでは 166 回、資源化センターでは 62 回発生しています。
委員	施設によって前処理が違うのではないかと思うので、十分注意してしっかりやるように頑張ってもらえたらと思います。

環境施設課長	東清掃センターでも手選別をしていただいておりますが、リチウムイオン電池が入らないように資源循環推進課と協力しながら進めていきたいと思っております。
環境部長	いろいろご意見ありがとうございました。ごみの分別はしっかりやらせていただきたいと思います。まずは、分別の徹底した対応、集団回収につきましては、協議をさせていただきたいと思います。
議 長	他に何かございますか。 事務局からよろしいでしょうか。
資源循環推進課副課長	来年度は一般廃棄物処理基本計画『生活排水処理基本計画書』の見直しがございます。年4回程度の審議会の開催を予定しておりますので、皆様のご出席と審議を賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。
委 員	川越市のこの審議会は、この日に開催しますという連絡が来るだけで、日程調整をして頂けない、少なくともオンラインにしていただけるとだいぶ参加できる可能性が高まりますので、ぜひ、オンライン開催等を検討していただければと思います。
資源循環推進課副課長	情報政策部門がございますので、そちらと相談の上、オンラインと対面のミックスした方法で対応できないか検討していきたいと思っております。
委 員	よろしく申し上げます。
議 長	以上をもちまして、議長の職を解かせていただきます。
司 会	最首副会長、議事の進行ありがとうございました。以上をもちまして、本審議会を終了させていただきます。 本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。
	以上